

平成 30 年 12 月 14 日

報道機関 各位

研究設備のスーパーユーザー養成

富山大学設備サポートマネジメントオフィス

2018 年度 後期 スーパーユーザー認定式を行います

富山大学では、平成 30 年 4 月より「設備サポートセンター整備事業」の活動をスタートし、学内分析装置の共用化・最大活用化を推進しています。その一環で学内の学生を対象としてスーパーユーザーの養成を行っています。集束イオンビーム加工装置、超電導核磁気共鳴装置、He 液化システムの 3 装置において、このたび理学部・工学部の学生 14 名が修了・認定される予定です。認定式を経て、今後、装置を活用して更に高度な研究に役立てるとともに他の装置使用者のサポートにも活躍することが期待されます。

つきましては、認定式の取材・報道方よろしくご願いたします。

【スーパーユーザーとは…】

分析装置等を単に使用して測定するユーザーではなく、測定原理や解析など装置に関する幅広い知識を有し、装置維持のためのメンテナンスも可能な使用者（スーパーユーザー）を養成しています。毎年、対象装置を選定し 学内学生や学外の地元企業の技術者を候補者として養成プログラムを実施していく予定です。

〈日時・場所〉

開催日時：平成 30 年 12 月 18 日(火) 16:00 - 16:30

開催場所：富山大学 五福キャンパス 本部 5F 大会議室

〈内容〉

スーパーユーザー認定式および記念撮影



【本件に関する問い合わせ先】

富山大学 研究推進総合支援センター 設備サポート・マネジメントオフィス

TEL : 076-445-6713 (根角・佐藤) MAIL : setubi@ctg.u-toyama.ac.jp